

市長への提言 令和4年7月末日現在					
件名	要旨	市の考え方	受付日	回答日	担当部署
医療費助成制度について	医療費助成制度は精神障害者の等級が1級の場合のみ適用されていますが、福祉向上の観点から等級2級にも適用して、1医療機関での医療費負担を月額500円以下にはいかかでしょうか。	重度障害者医療費助成制度は、重度の障害がある方に対して、必要とする医療が容易に受けられるよう医療費の自己負担額の一部を助成する制度で、大阪府の「重度障がい者医療費助成事業費補助制度」に基づき実施しております。助成対象につきましては、精神障害者保健福祉手帳2級所持者にも拡充してほしいとのご要望はお聞きしており、本市としましても大阪府に対し制度の拡充を要望しているところです。今後も引き続き、重度の障害がある方に必要な支援ができるよう取り組みを進めてまいります。	2022/5/30	2022/7/1	医療助成課
長尾駅前再開について	長尾駅前を再開して、ショッピングモールかショッピングセンターを作り、長尾地域への定住促進及び集客を図ってはいかがでしょうか。	JR長尾駅周辺は駅前広場の整備や都市計画道路の整備など、交通結節点(※下記ご参照)機能の強化に向け取り組みを進めているエリアで、地域におきましても地権者らが中心となり「枚方市長尾地域まちづくり推進協議会」が組織され、今後のまちづくりの方向性や将来像についての検討が行われているところです。 現在、本市が策定しているまちづくり構想をもとに、具体的な検討が進められており、実現までには時間を要することも想定されますが、本市としましても、早期実現に向けこの取り組みを支援してまいります。  ※交通結節点とは、異なる交通手段(場合によっては同じ交通手段)を相互に連絡する乗り換え・乗り継ぎ施設。鉄道駅、バスターミナル、駅前広場などが挙げられる。	2022/5/30	2022/7/1	市街地開発課
枚方公園青少年センターの使用について	図書館の開館日を増やしてほしい	枚方市立図書館では、市民の皆様の利便性向上を目指して、開館日の拡大や、開館時間の延長などの取り組みを行ってまいりました。現在、楠葉・牧野・さだ・津田・菅原・御殿山・香里ヶ丘の7分館では、毎月第4日曜日を休館日とし、開館時間を午前9時から午後9時(日曜・祝日は午前9時から午後5時)まで拡充しております。 一方、規模の小さい枚方公園・宮之阪・香里園・藤阪・氷室・村野の6分室については、分室ごとに毎週固定した曜日を休室としており、施設規模に応じた運営体制としております。分室が休室の際は、ご不便をお掛けしますが、他の分館等をご利用いただきますようお願いいたします。	2022/5/31	2022/7/21	中央図書館
枚方公園青少年センターの使用について	2階のロビーでコロナ禍以前のように囲碁将棋等が自由にできるようにしてほしい	枚方公園青少年センターは、青少年に学習と憩いの場を提供し、青少年の仲間作りと活動を支援することを目的に設置された施設であるため、2階ロビーは青少年向けの自学・自習優先スペースとしております。 現在、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、対面で行う囲碁将棋等の利用は制限しておりますが、今後は、府の要請緩和等も踏まえながら、感染対策を講じた上で、囲碁・将棋等の再開を検討してまいります。	2022/5/31	2022/7/21	子ども青少年政策課
小学校の冷房について	娘が学校より、今年は電気代が高いので、できるだけ冷房を使わないと言われたそうです。もし、それが本当でしたら、市からの指示なんですか？	エネルギー価格の高騰により、学校を挙げての節電活動が急務となっていたことから、電気使用量の削減に向けた取り組みの一つとして、各学校に対し、空調機器等の適切な運用を呼びかけておりました。 具体的には、教室での使用は午前7時から午後4時まで、また、授業終了後には電源をオフにすることなどをお願いしたもので、冷房の使用を控えるよう依頼したものではありませんが、今回のご指摘を受けまして、教育委員会としましても、様々な機会をとらまえ、学校に対し、改めて周知を図ってまいります。 電気料金の高騰は危機的な状況にはありますが、まずは子どもたちの健康と学習環境の確保を第一に考え、今後も学校と連携を図りながら、効果的な節電対策に取り組んでまいります。	2022/6/3	2022/7/4	新しい学校推進課
来年度以降の支援教育について	文科省と府教育委員会は支援教育の在籍条件を「3時間以上/日を目安として」と説明し、市議会議員にもそのように事後報告しているにも関わらず、保護者へは在籍条件として「3時間以上/日」を求める手紙を渡し、来年度のことを今月末までに判断するよう迫っておられます。	ご指摘を受けまして「週の授業時数の半分以上(1日2～3時間以上)」と表記している部分については、「原則として、週の授業時数の半分以上を目安(1日3時間程度)」に改め、また、次年度からの入級を希望される場合は、前年度の「6月末まで」に在籍している学校へ相談していただくよう通知しておりましたが、「1学期の懇談等で学校の先生方とご相談ください」に内容を変更し、6月中旬に保護者の皆様へ改めてご案内させていただきました。保護者の皆様にご心配をおかけしましたことを、お詫び申し上げます。  本市の支援学級に対する考え方につきましては、改めて保護者説明会を開催させていただき、就学にあたっての十分な情報提供に努めるとともに、丁寧な説明を行ってまいります。	2022/6/5	2022/7/4	児童生徒支援課

市長への提言 令和4年7月末日現在					
件名	要旨	市の考え方	受付日	回答日	担当部署
保育園に通えない「無園児」を抱える孤独な親の現状について	保育園などに通っていない無園児は2022年時点で全国に145万人いるといわれています。無園児を抱える親は子育てで孤立し、追い詰められてしまうこともあるとニュースで取り上げられています。保育園を、保育を必要とする全ての子どもや親のセーフティーネットとして間口を広げていく必要があるのではないのでしょうか。待機児童問題が解消している地域がありましたら、誰もが週3か4日からでも保育園を利用できるようにしていただけたらと願います。	本市における保育認定要件には、「就労」のほか、「出産」や「疾病」、「求職活動」など複数の項目があり、世帯の状況に応じてご案内しております。本市では、定員を超えた場合でも、弾力的に受け入れを行っておりますが、それでもなお、希望する施設を利用できない児童が発生していることから、入所要件の緩和は難しい状況にあります。 そのため、在宅で子育てされている方への支援として、「一時預かり事業」のほか、乳幼児の親子のために室内のあそび場を提供する「地域子育て支援拠点事業(おやこの広場)」、援助の必要な子育て家庭に預かりや送迎のサポートを行う「ファミリーサポートセンター事業」等、様々な取組みを実施しています。  また、長引くコロナ禍の影響で、育児疲れを感じておられる方が増えているのご意見もいただいております。家庭での育児負担を軽減するため、3歳未満のお子様を在宅で子育てされている方を対象に、保育所(園)等の一時預かりを無料で2日間体験できる「一時預かりリフレッシュ券」を令和4年9月より、新たに導入する予定です。本事業をご利用いただくことで、親御様自身もリフレッシュしていただき、より安定したお気持ちで子育てを楽しんでいただけたらと考えております。 いただきましたご意見も参考に、今後も子育て支援の充実に取り組んでまいります。	2022/6/16	2022/7/8	保育幼稚園入園課 私立保育幼稚園課
危険な用水路について	下校中の小学生が用水路に度々入って遊ぶ姿を目撃しました。放置されていたら、いつか事故に繋がると懸念しております。早急に調査し対応していただきたい。	ご連絡を受け、改めて状況を確認したところ、現場付近には進入防止フェンスや転落防止柵は設置しておりますが、ご指摘いただいた場所では児童が水路へ入る恐れがある状態となっておりますので、まずは、今回確認した危険個所の状況を学校とも共有し、児童や保護者に対して「水路には立ち入らない」「水路で遊ばせない」などの指導や注意喚起を行うとともに、関係機関とも協議を行いながら、新たな転落防止柵を設置するなどの対策を検討してまいります。  また、日頃より通学路の見守り活動を行っていただいている、地域の見守り隊の皆様や保護者の皆様にもご協力いただきながら、子どもたちの安全対策に努めてまいります。	2022/6/18	2022/7/11	新しい学校推進室 交通対策課 下水道管理課
子育て支援センターの利用人数について	コロナウイルス対策により子育て支援センターが予約制になり、利用者人数に制限が設けられています。現在の予約人数はコロナウイルスの蔓延が始まった頃と同じままではないのでしょうか。一度支援センターの利用者人数が適切であるか見直していただけないでしょうか。	新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、就学前児童施設の集団感染が複数発生していたことから、まずは感染拡大の防止を最優先に考え対応してまいりました。 感染状況はまだまだ予断を許さない状況が続いておりますが、一方で、今後も室内で遊べる環境を確保していくことは重要であると考えております。現在、オミクロン株の状況も踏まえ受入組数の見直しなど、皆様が一日も早く安心してご参加いただける時期及び手法を検討しているところで、運用を変更することとなりましたらホームページ等でご案内させていただきます。	2022/6/19	2022/7/21	私立保育園幼稚園課
子ども医療費助成について	枚方市では15歳まで医療費の助成をいただいていると思います。しかし、他の市町村では18歳まで対象としているところが多くなってきました。将来的に対応いただけるよう検討いただけないでしょうか。	本市では安心して楽しく子育てできる環境の充実をまちづくりの重点施策に位置付け、2子以降の保育料無償化(0~2歳)や世帯単位での子ども医療費助成など、他市にない子育て世代の負担軽減策を進めております。 限られた財源の中で、取り組む施策は自治体によって様々ですが、ご要望いただいた子ども医療費助成の拡充の検討を含め、子育て世代の負担軽減策を更に進めてまいります。	2022/6/19	2022/7/1	医療助成課
幼稚園について	保育園を申し込みましたが、待機となりバスのない幼稚園に入園しました。距離があり、送迎は徒歩ではなく自転車です。待機児童を早く解消してください。	本市では、通年の待機児童ゼロを目指して入所定員の拡大を図るなど、これまで様々な取組みを進めてきました。そうした中、昨年度からは、一時預かり事業の空き枠を活用して待機児童を受け入れる「就労応援型預かり保育」にも取り組んでおります。  また、年度途中の転入や育児休業明けの保育ニーズにも対応し、仕事と子育ての両立を支援するため、令和3年10月に開設した蹠陀西臨時保育室に加え、渚西保育所跡施設を活用した渚西臨時保育室を、令和4年の秋に開設予定です。  こうした取組みを通して、保育を必要とされる方々に様々な選択をしていただけるよう、今後も引き続き、取組みを進めてまいります。	2022/6/30	2022/7/29	私立保育幼稚園課